

発達障がいと不登校・ ひきこもりの関係を考える ～インクルーシブ教育システムの 視点から～



7月31日(火)

13:30～15:30 受付13:00～

【講師】

静岡大学大学院 准教授
伊田 勝憲 先生

＜先生のプロフィール＞1976年2月北海道札幌市生まれ。小学5年から中学1年にかけて約2年間の不登校・ひきこもり。弘前大学教育学部、名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程を経て、2004年10月に松阪大学（三重中京大学）講師、2007年10月に北海道教育大学釧路校准教授、2014年4月より静岡大学教職大学院准教授、現在に至る。専門は教育心理学（学習意欲、アイデンティティ形成）、生徒指導・教育相談。沼津市青少年教育センタースーパーバイザー、北海道教育委員会スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員（札幌啓成高校）、NPO法人サンフォレスト理事（ひきこもり支援）等を兼務。

＜先生からのメッセージ＞「不登校」「ひきこもり」と一括りにしても、その実情は一人ひとり異なるという見立てが大前提として必要だと感じています。何か一つの原因で不応に至るとは考えにくく、おそらくは複数の要因の連鎖や重複が見られ、それゆえに実際の対応を個別に考えなければならない難しさがあると思います。一方で、未然防止も含めて学校教育にできることがあるとも期待しています。近年はいじめ防止対策推進法に基づく重大事態の第三者調査委員を引き受けることも増えてきて、あらためてインクルーシブ教育の視点、特に合理的配慮の提供やユニバーサルデザインの発想が「いじめ」のみならず「不登校」の対応を考える上でも大切になるという思いを強くしています。発達障がいのことは視野に入れつつ、しかし診断の有無にはこだわらず、子ども本人のニーズと保護者の困り感に寄り添うことなど、これからの学校教育に求められていることについて、発達や適応に関する心理学の視点も含めて提案したいと思います。

・場所：セラトピア土岐 3階大会議室（土岐市土岐津町高山4）

・申込方法：専用の申込用紙にてFAXでお申し込みください。

・定員（120人）になりしだい、締め切ります。

・お問い合わせ：東濃特別支援学校地域支援センター ☎0572-55-4821